

名磯

母多勢良米モタセラメ略下

〔八雲御抄五名所〕磯

玄かほのいそ近 万 さしでの鳥古今山千こよろぎの相てい古敏行す玄ぶたにの越中  
ひたかたの万 さ、玄まの万 むらしか万としまが仲實金 忍じまが淡基千の鳥が近

〔藻鹽草水邊〕磯 同名所

敏馬磯攝州たつ千鳥よさの磯丹後いさりあまの千鳥なる島磯攝州歟むろのうらのいそこす波

けるかにも白神磯紐州いそゆらのさき鹽あらにけらしとよか富島磯淡州むら千鳥戀舟繪島磯同上

月野島磯近江八十八磯同上た松島磯奥州あみしたづの荒蘭磯武州生る松に雄島磯同右松が

さりそ松しまやの袖あまがいと松風時雨ま夜枕波船こぐせとの鹽あひりあ篠島磯石見ゆめ

まや夜わたる月の影さえて磯こすなみに秋かぜふくし指出磯甲州しほの山さしでの磯こ

沖つでのほ古登たか磯み石見がたてと歸るなみとまらすや白羽磯枕したうみ岩眞野磯近江うづ

ともめ玉もす知輪磯遠江とあひてうあらしるの磯とはへの若磯同上はまな有磯越中いたづ

くまが澁谷磯同上の清きいそまによするゆかんし田邊磯みたはせふみ大磯さかみ小磯鹽竈磯わ

もて御代の数とぞおもふ砂をつなるみ泊磯同上もさはらす歸るなみかな或云さきく物をむらしが

磯河みるめうらなはなけむらしが悲いそのひたかたの磯未勘小餘綾磯或云こゆら共さ

たかいその總名に花開こゆるぎのいそと云り玉だれのこがめ玉もちたり若むしあけの磯武藏

とむる難波瀉とよめしほ

松風

甲斐國 指出磯

〔古今和歌集七〕題しらす

しほの山さしでの磯にすむ千鳥君が御代をばやちよとぞなく

讀人玄らす